

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】平成25年4月25日 (2013.4.25)

【公表番号】特表2012-523909(P2012-523909A)  
【公表日】平成24年10月11日 (2012.10.11)  
【年通号数】公開・登録公報2012-041  
【出願番号】特願2012-506064(P2012-506064)  
【国際特許分類】

A 6 1 C 7/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 C 7/00 B

【手続補正書】

【提出日】平成25年3月6日 (2013.3.6)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ワイヤを歯列矯正補助装置に連結するための連結器を含み、該連結器が、

舌側を有する本体と、

前記本体の前記舌側を横切って延びるスロットと、

ワイヤを前記スロットの中に解放可能に保持するために前記本体に連結されるクリップと、を含み、前記スロットが、前記ワイヤが前記スロットの中に保持された状態で、前記連結器本体が前記本体に対して前記ワイヤの長手方向軸を中心に回転するのを制限する一対の剛性で対向する壁を含む、歯科矯正アセンブリ。

【請求項 2】

本体と、

前記本体を横切って延びるスロットと、

ワイヤを前記スロットの中に解放可能に保持するために前記本体に連結されるクリップと、を含み、前記スロットが、前記ワイヤが前記スロットの中に保持された状態で、前記連結器本体が前記本体に対して前記ワイヤの長手方向軸を中心に回転するのを制限する、一対の剛性で対向する壁を含み、更に、前記連結器が、前記連結器を歯の表面に取り付けるのに適している結合ベースを欠いている、歯列矯正用連結器。